

本件の取り扱いについては、下記の解禁時間以降でお願い申し上げます。

新聞 : 日本時間 12月28日(水曜日)付 朝刊

テレビ・ラジオ・インターネット : 日本時間 12月27日(火曜日) 17時以降

平成23年12月27日
経済農政局経済部経済企画課
電話 245-5272
内線 3011

千葉市政担当記者 様

**独立行政法人放射線医学総合研究所客員研究員 中村秀仁氏が
「科学技術への顕著な貢献 2011 (ナイスステップな研究者)」に選出**

千葉市では、重要施策として科学都市の推進に努めていますが、この度、千葉市にある最先端の学術研究拠点である独立行政法人放射線医学総合研究所（以下、放医研と略す）と国立大学法人京都大学（以下、京都大学と略す）に在籍している中村秀仁氏が、文部科学省科学技術政策研究所の「科学技術への顕著な貢献 2011 (ナイスステップな研究者)」に選出されましたのでお知らせします。

中村氏は、放医研・京都大学・帝人化成株式会社との産学官連携による共同研究により、革新的な放射線蛍光プラスチック（商標登録名『シンチレックス』として平成23年9月に製品化）の開発に成功、この結果、放射線検出器を低価格で販売することが可能となり、これまで限られていた放射線検出器の普及に寄与するとともに、一般家庭用の安価な放射線検出器の早期実用化が期待されています。

なお、この放射線蛍光プラスチックは一昨年、昨年と放医研と共同で開催した「科学技術カフェ」の中で、中村氏がブース出展し紹介したもので、本市でも過去に市長が自身のブログで取り上げるなど、注目を集めている研究です。

放医研と千葉市は、前述の「科学技術カフェ」を始め様々な取組を行ってきましたが、今年3月に連携・協力に関する協定を締結し、5月17日実施の「子どもと安心して過ごすための放射線基礎講座」を始め、相互の知的資源の活用や産学官連携といった分野での協力を進めるなど、科学都市の推進にあたり、さまざまな連携をしています。

※「科学技術への顕著な貢献 2011 (ナイスステップな研究者)」

科学技術政策研究所が、科学技術政策研究所の調査研究活動や専門家ネットワーク1,740人の意見を通して明らかとなった科学技術の振興・普及に貢献する業績について、国民に科学技術の夢を与え、特に科学技術政策上注目すべき研究者を選出するものです。過去にはiPS細胞の山中伸弥教授（2006年）や「はやぶさ」のプロジェクトチーム（2006年）なども選出されています。

今回の中村氏は個人の研究者としては異例の若さでの選出であり、今後の氏の活躍が大いに期待される所です。

研究に関する問合せ先：京都大学総務部広報課

TEL：075-753-2341 FAX：075-753-2094

E-mail：kohho52@mail.adm.kyoto-u.ac.jp